

関係機関・団体・課・室長様

兵庫県農政環境部長

令和3年度 兵庫県農業気象技術情報第1号(5月情報)について(送付)

このことについて、下記のとおり情報を作成しましたのでお送りします。

記

1 気象経過・予報から想定される栽培上の留意点と対応策

作物	地域	栽培上の留意点	対応策
水稲	全県共通	<p>1 生育 気温、降水量、日照時間は平年並みと予想される。 浸種時間を適切に取り、十分に催芽させて播種する。播種はうす播きにし、育苗時の温度管理と灌水に留意するとともに、軟弱徒長しないように健苗の育成に努める。 白化苗を防止するため、緑化前の苗では寒冷紗等で、3～4日被覆し、徐々に馴らす。 ムレ苗を防止するため、トンネル内の換気に努め、急激な温度変化を避ける。</p> <p>2 病害虫 苗いもちの発生に留意する。 苗立枯病は育苗培土中の伝染源により発生し、育苗期の急激な温度変化により助長される。</p>	<p>2 病害虫 種子消毒時の薬液の温度が10℃以下にならないように管理する。水替え時に種子を洗わないようにする。種子消毒については「R2年度病害虫発生予察防除情報第4号」(令和3年2月26日発表、兵庫県病害虫防除所ホームページに掲載中)参照。 苗いもちの発生を防ぐため、もみ殻・わら等の伝染源は周囲から除去するとともに、トンネル内の適切な換気に努め、過湿を避ける。また、夜間の過湿を避けるため、夕方の灌水はしない。 苗いもちが発生したら、速やかに除去すると共に薬剤防除を行う。 苗立枯病の発生を防ぐためには、発生前に薬剤防除(薬剤の培土混和や灌注処理)を行い、適温を保つように管理する。 薬剤防除は「病害虫・雑草防除指導指針(兵庫県農薬情報システム)」を参考に適正に実施する。</p>
麦	全県共通	<p>1 生育 出穂期は平年に比べ2日程度早くなっており、成熟期は平年よりかなり早くなると予想される。ただし、播種時期により出穂期に差がみられる。 排水溝の手直しを徹底して、排水対策に努める。特に、乗用管理機による赤かび病防除後は、車輪で崩れた排水溝の手直しをしっかりと行う。 成熟期が早まると予想されるので、子実水分が20%以下を目標に、適期収穫に努める。</p>	

農業技術センター(加西市)における生育状況

	本年 ^{※1}		平年 ^{※2}	
	出穂期	成熟期	出穂期	成熟期
シロガネコムギ	4/10	6/3	4/12	6/3

※1 播種は11月8日(平年比+1日)
※2 平年は直近7ヶ年から最高・最低を除いた平均値

		<p>2 病害虫</p> <p>近年稀なコムギうどんこ病の発生がみられている。今後、気温は高く、降水量は平年並～少ないと予想され、発病に最適な気象条件が続くと考えられるため、発生に十分に留意する。また、赤かび病は開花期の高温・多雨で多発しやすいため、共に注意が必要である。</p>	<p>2 病害虫</p> <p>コムギうどんこ病については、4月28日に「令和3年度病害虫発生予察注意報第1号」（兵庫県病害虫防除所ホームページに掲載中）を発表したので、発生を確認した場合、「病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）」を参考に、速やかに防除を行う。また、赤かび病の発病を未然に防ぐために、小麦、大麦ともに開花始期から開花期までの間に1回目、さらに10日後に2回目の薬剤散布を行う。「R3年度病害虫発生予察防除情報第1号」（兵庫県病害虫防除所ホームページに掲載中）を参照のこと。</p> <p>イネ縞葉枯病の媒介虫であるヒメトビウンカは麦で増殖するので、昨年、発生が多くみられた地域においては薬剤散布等で麦におけるヒメトビウンカの増殖を防ぐことが望ましい。</p>								
キャベツ	全県共通	<p>1 生育</p> <p>(1) 初夏どりで、肥料切れを起こさないようにする。</p> <p>(2) 降雨による滞水を避ける。</p> <p>(3) 降雨がなく乾燥が続く場合、球内のチップバーンの発生に注意する。</p> <p>(4) 生育適温下での降雨等により、急激に結球肥大が進むと裂球の発生が懸念される。</p> <p>2 病害虫</p> <p>菌核病、ヨトウガ、コナガの発生はいずれも平年並みと予想される。フェロモントラップでは4月当初から、ヨトウガ成虫の発生がみられており、次世代幼虫の早期の発生と加害の長期化が予想される。</p>	<p>1 生育</p> <p>(1) タイミングを逃さないよう適期に追肥を行う。</p> <p>(2) 落水口への確実な連結により排水性を高める。</p> <p>(3) 10日以上降雨がない場合、畝間灌水等を行う。作土が浅いほ場では特に土壤の乾燥に注意する。</p> <p>(4) 春キャベツでは8分結球程度で、初夏どりで締まり具合を確認し、球のしまったものから順次収穫する。</p> <p>2 病害虫</p> <p>「令和2年度病害虫発生予報第8号」（兵庫県病害虫防除所ホームページに掲載中）及び「病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）」を参考に適正に防除する。</p>								
果樹	全県共通	<p>1 生育</p> <p>(1) 生育は県北中部では昨年比で早く、平年比も早い。県南部では昨年比、平年比ともに早い。</p> <p>農業技術センターにおける樹種別の生育状況</p> <table border="1"> <tr> <td>クリ※1</td> <td>展葉昨年比4日早い（平年比7日程度早い見込み）</td> </tr> <tr> <td>ブドウ※1</td> <td>発芽、展葉とも昨年比やや早い見込み（平年比3日程度早い見込み）</td> </tr> <tr> <td>ナシ※2</td> <td>満開期昨年比6日早い（平年比10日早い）</td> </tr> <tr> <td>温州ミカン※3</td> <td>発芽昨年並み（平年比7日早い）</td> </tr> </table> <p>※1 加西市 ※2 朝来市 ※3 南あわじ市</p>	クリ※1	展葉昨年比4日早い（平年比7日程度早い見込み）	ブドウ※1	発芽、展葉とも昨年比やや早い見込み（平年比3日程度早い見込み）	ナシ※2	満開期昨年比6日早い（平年比10日早い）	温州ミカン※3	発芽昨年並み（平年比7日早い）	<p>1 生育</p> <p>(1) 生育に合わせて着果管理や防除の時期を見極め、適期管理に努める。</p>
クリ※1	展葉昨年比4日早い（平年比7日程度早い見込み）										
ブドウ※1	発芽、展葉とも昨年比やや早い見込み（平年比3日程度早い見込み）										
ナシ※2	満開期昨年比6日早い（平年比10日早い）										
温州ミカン※3	発芽昨年並み（平年比7日早い）										

<p>(2) ナシ（北但地区）では開花期の天候の影響を見極めた結実管理に努める。</p> <p>(3) 幼木は乾燥による生育不良にならないよう留意する。</p> <p>(4) 晩霜害を受けた園では適切な対応を行う。</p> <p>2 病害虫</p> <p>県北部（朝来市）のフェロモントラップにおいて、例年より早く4月上旬からチャバネアオカメムシの誘殺がみられている。気温の上昇と共に越冬世代成虫の移動性が高くなるので、園地への飛来に留意する。</p>	<p>(2) 摘果時に障害果等の判別を慎重に行う。</p> <p>(3) 土壌が乾燥する場合は、灌水を行う。</p> <p>(4) 晩霜害等による被害果がある場合は、果実を見極めるため摘果を遅らせる。 凍害を受けたクリ、サンショウ、イチジク樹では、発芽、展葉が健全な部分まで早めに切り戻し、新梢伸長を促す。</p> <p>果樹園への飛来量や飛来時期は、周辺環境の影響を大きく受けるため、地域や園地によって異なるが、山林に近い園地では飛来量が多い傾向にあるため、特に注意する。発生や被害を認めたら、速やかに薬剤による防除を行う。「病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）」を参考に適正に防除する。</p>
--	--

◎水稲・麦の栽培については、「稲・麦・大豆作等指導指針」を、防除については「病害虫発生予察情報」及び「病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）」を参考にすること。
※本情報は、4月27日時点のデータを元に作成しています。

2 気象予報

(1) 近畿地方の向こう1か月予報

近畿地方 1か月予報 (04/24~05/23)		
2021年04月22日14時30分 大阪管区気象台 発表		
向こう1か月 04/24~05/23	天候	天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
	降水量	降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。
	日照時間	日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。
1週目 04/24~04/30	気温	1週目は、平年並の確率50%です。
2週目 05/01~05/07	気温	2週目は、平年並または低い確率ともに40%です。
3~4週目 05/08~05/21	気温	3~4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	近畿地方	向こう1か月 04/24~05/23	30 (低い) 30 (平年並) 40 (高い)
		1週目 04/24~04/30	20 (低い) 50 (平年並) 30 (高い)
		2週目 05/01~05/07	40 (低い) 40 (平年並) 20 (高い)
		3~4週目 05/08~05/21	20 (低い) 40 (平年並) 40 (高い)
降水量	近畿地方	向こう1か月 04/24~05/23	40 (低い) 40 (平年並) 20 (高い)
日照時間	近畿地方	向こう1か月 04/24~05/23	20 (低い) 40 (平年並) 40 (高い)

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

(2) 近畿地方の向こう 3 か月予報

近畿地方 3か月予報 (05月～07月)		
2021年04月23日14時00分 大阪管区気象台 発表		
05月～07月	気温	平均気温は、高い確率50%です。
05月	天候	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。
06月	天候	平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。
	降水量	降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。
07月	天候	期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年に比べ晴れの日が多い見込みです。
	気温	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

気温、降水量の各階級の確率 (%)			
気温	近畿地方	05月～07月	20 30 50
		05月	20 40 40
		06月	30 30 40
		07月	20 40 40
降水量	近畿太平洋側	05月～07月	30 30 40
		05月	40 30 30
		06月	20 40 40
		07月	40 30 30
	近畿日本海側	05月～07月	30 30 40
		05月	40 30 30
		06月	20 40 40
		07月	30 40 30

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

※ 気温・降水量・日照時間は低い・平年並・高い(少ない・平年並・多い)の3階級で予報されます。階級の幅は、平年値の作成期間(1981～2010年)における各階級の出現率が33%となるように決めてあります。

ホームページアドレス

- 「兵庫県病害虫防除所(病害虫発生予察情報)」(ホームページが新しくなりました)
<http://bo.jo.hyogo-nourinsuisangc.jp/>
- 「病害虫・雑草防除指導指針(兵庫県農薬情報システム)」
<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>
- 「稲・麦・大豆作等指導指針」
http://web.pref.hyogo.lg.jp/nk12/af11_000000107.html
- 「小麦赤かび病を適期に防除するための開花期予測システム」
http://www.naro.affrc.go.jp/project/results/laboratory/karc/2011/180a0_01_33.html

問い合わせ先

本情報に関すること

- 兵庫県農政環境部農林水産局農産園芸課 TEL (078) 341-7711(代表)
農産班: 主作・機械担当 内線 4065
農産班: 野菜担当 内線 4054
花き果樹班 内線 4066

技術内容に関すること

- 県立農林水産技術総合センター
企画調整・経営支援部 TEL (0790) 47-2435
農業技術センター 農産園芸部 TEL (0790) 47-2410
農業技術センター 病害虫部 TEL (0790) 47-1222
北部農業技術センター 農業・加工流通部 TEL (079) 674-1230
淡路農業技術センター 農業部 TEL (0799) 42-4880

兵庫県ホームページでも本情報を公開しています。

URL : http://web.pref.hyogo.lg.jp/af11/af11_000000097.html
(兵庫県トップページ>食・農林水産>農業>農作物>農業気象技術情報)